



博多

HAKATA

博多区役所 〒812-8512 博多区博多駅前二丁目9-3

区役所代表電話 ☎ 441-2131

区ホームページ <http://www.city.fukuoka.lg.jp/hakata/>

区の人口 228,489人 (前月比104人増) (男 109,080人 女 119,409人) 世帯数 138,081世帯 (前月比40世帯増) (平成27年9月1日現在推計)

期=日時、開催日、期間 所=場所 問=問い合わせ ☎=電話 F=ファクス 対=対象 定=定員 料=料金、費用 託=託児 申=申し込み 持=持参 送=メール HP=ホームページ

年末年始は 火災や犯罪に注意してください

火の用心

年末年始は寒さが厳しく、空気が乾燥するたため、火災が増える時期です。暖房器具やこんろなどを使う際は、ちょっとした不注意で火事になる恐れがありますので注意しましょう。

■こんろ火災にご用心

住宅火災の多くはこんろが出火原因で、そのうちこんろから鍋によるものが約7割を占めています。ちょっとした間だからと火を付けたままその場を離れ、鍋から炎が出て火災に至るケースが多いようです。

てんぷら油はこんろで加熱し続けると、約20分で発火します。油の温度はこんろの火力を弱めても、思ったより早く上昇するので注意が必要です。「火を付けたらその場を離れない」「離れるときは火を消す」を習慣付けましょう。

鍋から出火した時は、絶対に水を掛けてはいけません。消火器を使って

消すか、濡らした大きめのタオル等で鍋全体を覆い、空気を遮断して消火してください。

■火災警報器を設置しましょう

火災による死亡原因の約6割は逃げ遅れです。住宅用火災警報器は、火災により発生する煙や熱を感じし、警報を鳴らすもので、設置が義務付けられています。

就寝中の出火を警報器が知らせ、火災を未然に防いだ例や、火災から逃げ出せた例が多くあります。警報器はホームセンターや家電量販店で購入できますので、必ず設置しましょう。また、警報器のボタンを押すか、ひもを引いて定期的に作動確認を行ってください。

警報器は寿命により火災を感じできなくなる恐れがありますので、10年を目安に取り換えましょう。

【問い合わせ先】

博多消防署予防課 ☎ 475・0119 F 475・0219

常に防犯意識を持ちましょう

年末年始は人の動きが慌ただしく注意が散漫になるため、空き巣やひったくりなどの犯罪が増える傾向にあります。戸締まりはしっかりと行い、夜道の一人歩きは避けましょう。

■何度も振り向いて

最近、性犯罪の被害が駅の周辺で急増しています。夜道では、時々振り返って周囲を警戒していることをアピールし、携帯電話を抜かないなど、隙を見せないようにしてください。福岡県警

発行のチラシに左写真にある防犯ポイントを押さえて身を守りましょう。

二七電話詐欺にご注意を

役所を名乗り「お金を払い戻す」などと騙す還付金詐欺、息子や孫に成り済ますオレオレ詐欺など、電話で言葉巧みにお金を騙し取る二七電話詐欺が急増しています。県内の被害額は、10月末時点で16億円を超えて過去最悪となっております。被害者の約75%が65歳以上の高齢者です。電話でお金

の話がされたら、すぐに家族や警察に相談してください。

【問い合わせ先】

博多警察署生活安全課 ☎ 412・0110

緊急告知 福岡県警察

性犯罪被害急増中

持ち歩こう 暗い夜道の 警戒心 振り向いて! 振り向いて!

もう一度振り向いて!!

- 夕方6時から深夜の間に
- 駅周辺での
- 道路上で背後から襲われる

被害が多発!!

①②③④ 夜道から自分の身を守るための防犯ポイント

- ① かるい道を通って2人以上で帰る
- ② ザーを手に持ち防犯対策
- ③ 暗い道は絶対歩かない
- ④ ついても周囲を警戒する

背後から人につけられたときは迷わず110番通報を!

参加募集 応募事項は15面の申し込み方法参照

ふゆのおはなし会

■博多南図書館

大型絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなど楽しいお話がたくさんあります。家族や友達と一緒に参加しませんか。期12月12日(土)午後2時～3時 所さざんぴあ博多2階多目的ホール(南本町二丁目) 問博多南図書館 ☎ 502-8580 F 502-8579 対幼児、小学生とその保護者 定先着100人 料無料 申不要

■博多図書館

冬とクリスマスにちなんだ大型絵本の読み聞かせやお話、紙芝居、エプロンシアターなどを、親子で楽しみませんか。期12月19日(土)午後2時半～3時半 所博多市民センター5階音楽室(山王一丁目) 問博多図書館 ☎ 472-5996 F 472-5999 対幼児、小学生とその保護者 定先着50人 料無料 申不要

飲酒運転ゼロを目指して



飲酒運転撲滅の意識低下を防ごうと、10月26日に地域、警察署、区が合同で飲酒運転撲滅の啓発活動を行いました。同活動には、区内の自治協議会の会長や交通安全推進委員、警察署や区の職員など総勢500人以上が参加しました

|| 左写真 ||

まず、旧冷泉小学校のグラウンドで飲酒運転撲滅セレモニーが行われ、「飲酒運転撲滅宣言」を力強く読み上げました。その後、警察車



年末年始はお酒を飲む機会が多くなります。飲酒運転は「しない、させない、絶対許さない」を徹底しましょう。

電話でお金は すべて詐欺! すぐに相談・110番!